

2023年日系社会研修員受入事業(多文化共生推進/日系協力型)
研修コース一覧

番号	分野	研修科目 和文	受 入 上 限 数	上 下	来 日 日	終 了 日	①目標 / ②成果 / ③計画 (内容)	資格要件	提案団体・担当者名
NL5	教育	青少年活動/海外にルーツを持つ子どもたちへの支援研修	2	下	2023/10/01	2024/3/22	<p>【1】①研修員に、公益活動団体による海外ルーツ青少年に対する教育および自立就労支援活動の具体的なノウハウが提供される①研修員に、公益活動団体による海外ルーツ青少年に対する教育および自立就労支援活動の具体的なノウハウが提供される</p> <p>②研修員に、ITを活用した支援活動ノウハウが提供される</p> <p>【2】<支援活動におけるIT活用> zoom、slack、Teamsを活用した当事者へのアウトリーチ、支援機会の提供およびSNSを活用した当事者へのアウトリーチ技術 <海外にルーツを持つ子どもに対する教育支援技術> 子どもを対象とした日本語教育、教科教育ノウハウ <海外にルーツを持つ子どもを対象とした多文化コーディネート技術> 不登校、不登校、高校進学希望者等の子どもを対象とした多文化コーディネート（保護者相談、地域や関係諸機関との連携協力、アウトリーチなど） <海外にルーツを持つ若者を対象とした自立就労/キャリア教育技術> 日本語を母語としない若者のためのITスキルトレーニング、就労セミナーの実施、キャリア教育などの関連技術 <関連日本語語彙・表現> 公益活動および教育・自立就労支援に関連する日本語語彙や表現の習得</p> <p>【3】1. 子どもの日本語教育プログラムの見学 2. 子どもの教科学習支援プログラムの見学、実習 3. 子どもの高校進学支援プログラムの見学、実習 4. 多文化コーディネート実習 5. 若者自立就労支援プログラムの見学、実習 6. 7. 在日日系人子ども向け（学習支援領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実践含む） 8. 在日日系人向け支援（就労領域）プログラムの企画・実施（アウトリーチ、相談、コーディネート実践含む） 9. 上記を通じた、在日日系人子ども・若者、生活者に対する母語対話機会の提供</p>	<p>子どもの教育または青少年支援活動の実践経験がある方 または 今後母国でこうした活動に取り組んでいく意欲のある方 学歴：不問 経験年数：不問 年齢：不問 日本語能力：N3以上 英語・多言語：スペイン語 備考：</p>	<p>提案団体：特定非営利活動法人青少年自立援助センター 担当者名：田中宝紀 E-mail：ikitanaka@kodomo-nihongo.com Site: https://www.kodomo-nihongo.com/index.html</p>
NL6	社会保障	在日日系ブラジル人へのソーシャルワーク	1	下	2023/10/01	2024/3/2	<p>【1】・地元行政及び外国人生活相談業務について十分に理解するとともに、多文化ソーシャルワークについて知る。 ・日本在住日系人子弟への日本語教育及び母語教育について知る。 ・日本の教育制度や関連の機関の役割を理解する。 ・日系人子弟の就学及びキャリア教育を知る。 ・研修員が母国において、生活における問題を抱える住民に対して、適切な助言や支援が出来るようになる。 ・地域住民へのブラジル文化紹介などにより相互の文化理解ができる。</p> <p>【2】1. 日本の制度を知り外国人相談の現状と多文化ソーシャルワーカーとしての基本的なスキルが身に付く。 2. 日本語の能力が向上する。 3. 日本の多文化共生の現状を知り、課題への取り組み方、企画力が身に付く。 4. 日本のビジネスマナーが身に付く。 5. 日本の公教育の現状を学び多言語で育つ子どもへの教育と指導方法を知る。</p> <p>【3】・可見市及び可見市国際交流協会の取り組みを知り、在住ブラジル人の現状を知る。 ・在日ブラジル人の生活相談窓口研修及び行政窓口研修を行う。 ・在日ブラジル人子弟の日本語教育支援や学習支援についての研修を行う。 ・在日ブラジル人子弟の母語指導教室での研修を行う。 ・日本語初期指導教室や市内小中学校、県立特別支援学校の見学を行う。 ・多文化共生フェスティバル（10月末予定）の運営支援を行う。 ・ブラジル文化の紹介などプレゼンテーションの研修を行う。（小学校等での文化紹介）</p>	<p>特になし。ソーシャルワークとともに教育にも関心がある方が望ましい 学歴：不問 経験年数：1年 年齢：不問 日本語能力：日本語 能力検定 N4 英語・多言語：ポルトガル語 備考：2020（遠隔研修）、2021（遠隔研修）、2022（対面研修） 年度研修受託機関である。同組織は日系サポーター研修事業以外の各種セミナー（中南米部部、中部センター市民参加協力課主催）に協力。</p>	<p>提案団体：特定非営利活動法人可見市国際交流協会 担当者名：各務 眞弓 E-mail：npokiea@ma.ctk.ne.jp Site: freviakani.jp</p>
NL9	教育	幼児保育・教育	1	下	2023/10/01	2024/1/31	<p>【1】日本における幼児教育を理解し、ブラジルとの違いを知り、日本の幼児教育をブラジルで実践できるようになる。また、将来的には今後の日本とブラジルの懸け橋になることを目指す。</p> <p>【2】1. (主に幼児教育における)日本語コミュニケーション能力を取得する。 2. 日本の幼稚園でのクラス補助業務を理解し、その手法を習得する。 3. 日本の幼稚園での園外活動を理解し、その手法を習得する。 4. 登降園時の保護者と職員とのコミュニケーションの重要性を理解し、実践できるようになる。</p> <p>【3】・講義：日本の幼稚園でのクラス補助業務、園外活動の計画立案、保護者とのコミュニケーション等。 ・実習：幼稚園等でのクラス補助、園内外での活動への参画、登降園時の保護者と職員とのコミュニケーション支援。</p>	<p>・幼児教育や保育についての基礎知識あるいは関心があること。 ・子どもとのふれあいが好きで、終日子どもと楽しく過ごせる人。 学歴：高卒程度 経験年数：3年 年齢：不問 日本語能力：N4程度以上 英語・多言語：ポルトガル語 備考：</p>	<p>提案団体：島根県出雲市 担当者名：岡田 大介 E-mail：hoiku@city.izumo.shimane.jp Site: https://www.city.izumo.shimane.jp/www/toppage/000000000000/APM03000.html</p>

2023年日系社会研修員受入事業(多文化共生推進/日系協力型)
研修コース一覧

NS2	ガバナンス	多文化共生推進支援	1	下	2023/10/01	2023/12/01	<p>【1】日本の行政サービスや外国人支援策及び多文化共生の現状を理解し、受け入れ側(日本)の在住外国人への最適な支援を考えるとともに、外国人が来日前にしておくよき準備や知っておくよき情報はなにか等を考え提案する。また、地域住民への多文化理解事業を実施することにより、多文化共生社会の推進に寄与する。</p> <p>【2】1. 日本の行政における外国人支援策や多文化共生の現状、教育システムなどについて理解し、母国との違いについて学ぶ。 2. 研修成果を生かし、母国における来日前の情報提供やアドバイスを旨とする。</p> <p>【3】講義：県内・市内外国人及び外国籍児童受入、日本の教育システム、外国人支援施策など 見学：外国人支援施設、外国人支援団体、日本語教室、外国籍児童・生徒に対する学習支援など 実習：市役所・外国人支援団体でのサポート、地域住民に対する多文化理解事業など 報告：日本と母国との比較について報告し、関係者との意見交換を行う 発表：研修成果の発表</p>	<p>パソコンスキル(PPT等) 日常会話程度の英語力があれば尚よし 再募集において資格要件については相談可 学歴：不問 経験年数：不問 年齢：不問 日本語能力：N2 英語・多言語：ポルトガル語(母語) 備考：同研修へ参加希望する研修員で、参加時期や実施期間などの変更(短縮)については、やむを得ない場合には応募前に担当者に連絡し、相談することが可能である。ただし、基本的には団体の提案する日程をすべて参加できることが望ましい。 経験年数や学歴は不問であるが、成果②の通り、帰国後に母国にて情報提供することを期待しているため、応募前には、自身の参加の目的や帰国後のプランについて、同団体担当者に相談し、ミスマッチが起きないようにすること。</p>	<p>提案団体：小松市国際交流協会 担当者名：本田 昌代 E-mail: kia@tvk.ne.jp Site: https://39kia.jimdo.com/</p>
NS3	教育	ラテンアメリカからの子どもたちのための日本語指導者養成研修	1	下	2023/10/01	2023/12/23	<p>【1】1. 研修員が南米の子どもたちに有効な「母語での識字指導法」、「日本語の指導法」を習得する。 2. 研修員がそれぞれの国に合った「ひらがな表」「カタカナ表」を生徒と協働作業により作成する。 3. 自身のレベルにあったムンド校の日本語授業を受け、生徒の目線で日本語教育を考えると同時に、自身の日本語能力も向上させる 4. 習得した指導法を在日外国人コミュニティに実践し、その有効性を実感するとともに、在日コミュニティの識字学習へのモチベーションを向上させる。 5. 研修員が在日日系人の子どもたちの日本語教育の現状・問題・課題について理解する。 6. 自身の研修での学びを発表する。</p> <p>【2】1. 年少者を対象とした「ひらがな」「カタカナ」の指導法を体感しながら習得し、実践する。 2. 非漢字圏の子どもたちのための「漢字指導法」を体感しながら習得し、実践する。 3. 研修者の母国語での「ひらがな表」を作成する。 4. 年少者に有効な「日本語指導法」を体感しながら習得し、実践する。 5. 研修中、日本語の授業を受け、自身のレベルに合った日本語能力試験を受験することで、子どもたちの日本語学習について身を持って経験するとともに、自身の日本語能力向上も図る。</p> <p>【3】1. 生徒として編入体験—編入生として生徒と同じ体験をする。 2. 日本語授業受講 3. 日本語授業アシスタント 4. 座学(指導法講義) 5. 日本語指導法習得 6. ひらがな表作成 7. ひらがな・漢字指導実習 8. 日本語指導法OJT及び実習 9. 研修成果発表</p>	<p>教員免許を有すること。 学歴：大卒(相当) 経験年数：不問 年齢：不問 日本語能力：日本語能力検定試験N5 英語・多言語：ポルトガル語/スペイン語 備考：2022年度にも同研修を実施している。研修期間が変更になり6か月→3か月</p>	<p>提案団体：学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校 担当者名：岡 則子 E-mail: okamundodealegria@gmail.com Site: http://www.mundodealegria.org/</p>
NS4	その他	南米系学校「ムンド・デ・アレグリア学校」で学ぶメディアーター研修	1	下	2023/10/01	2023/12/23	<p>【1】1. 日本の在日日系人の課題・問題を把握する。 2. 子どもたちの置かれている現状・教育問題を理解する。 3. 在日コミュニティの多文化共生のために何が必要であるかを自ら考え、課題解決策を模索する。 4. 研修での成果を日系人コミュニティで発表する。 5. 研修員が帰国後も母国にある日系企業・日系社会において潤滑油になる。</p> <p>【2】・相手の文化・思考を理解し、共生に向けて獲得した知識・知見等を同国人に母語で伝えて理解してもらうことに尽力できる人材を育成することができる。 ・南米には多くの日系企業が多く進出している。この研修での学びが南米駐在の日本人(=南米を理解している)と日系企業で働く同国人のための潤滑油となる。 ・日本と南米を繋げ、お互いの理解を進めて友好な関係を構築できる「草の根外交」につながる人材を育成することができる。</p> <p>【3】1. 生徒として編入体験 2. 講義 3. コーディネーターの仕事観察 4. 教員のアシスタント 5. 授業実習 6. 児童生徒ヒヤリング。 7. 日系継承教育研修見学及び研修員との意見交換 8. 振り返り、報告書作成 9. ミッション実施 10. 発表</p>	<p>教員免許を有すること。 学歴：大卒(相当) 経験年数：不問 年齢：不問 日本語能力：日本語能力検定試験N5 英語・多言語：ポルトガル語/スペイン語 備考：2022年度にも同研修を実施している。</p>	<p>提案団体：学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校 担当者名：岡 則子 E-mail: okamundodealegria@gmail.com Site: http://www.mundodealegria.org/</p>
NS5	教育	日本語初期指導	1	下	2023/10/01	2023/11/11	<p>【1】日本の教育システムや多文化共生の現状を理解し、学校と連携機関における外国籍児童生徒への日本語支援の仕組みを習得する。</p> <p>【2】1. 日本の教育システムや多文化共生の現状について理解し、母国との違いについて理解する。 2. 日本の学校現場における日本語支援の内容や方法、学校関係者との連携や保護者への対応のノウハウを学ぶ。 3. 母国での日本語支援にて研修成果を生かし、指導力向上を目指す。</p> <p>【3】講義：日本の外国籍児童生徒の現状と課題、大人と子どもの指導法の違い、日本語教授法、やさしい日本語、日本語を教えるポイントなど 見学：プラス・エデュケート内日本語教室及び放課後学習支援、オンライン授業など 実習：日本語初期指導サポート、学習支援サポート、 発表：母国紹介(管轄の小学校にて)</p>	<p>必要資格：子どもに日本語を教えることに興味・関心がある 学歴：大学卒業程度 経験年数：経験は問わない(1年以上の経験がある方優先) 年齢：記載無し 日本語能力：N2 英語・多言語：ポルトガル語 備考：2022年度の研修に提案書を提出し採択されたが、2回の研修員募集を実施したが応募者がおら</p>	<p>提案団体：認定特定非営利活動法人 プラス・エデュケート 担当者名：中西智子 E-mail: plus_educate@yahoo.co.jp Site: https://www.plus-educate.org/</p>